道の駅は池田町農業の活性化におおいに利用すべき

今、消費者は安全な地元産の食物を強く求めている。道の駅に農産物の直売所を造られるが、地産地消の拠点に育てていくという大きな目標を掲げられたい。繁盛している温泉の前の販売所、商品も価格も自由に決められ、信用を作り上げたら池田の顔になりうる。5・5億円もかける事業の中心だ、失敗は許されない。少々高くても買ってもらえる物を契約栽培をして来年も作りたいという価格で。基本商品として、米・麦・大豆・お茶がある。成功するには的確に決断・実行できるリーダーの存在が鍵だ。オープンまでに育てないと。

町農業の活性化がなければ、そもそも商品は集まらない。

町長　温泉客のアンケートでも「地元の物・安全な物・顔の見える野菜を買いたい・食べたい」が多い。リーダーについて、これは大きな影響がある事なので考える必要がある。

農地の地図情報は集約化にも大変役立つのだが取組みは？

町長　国からも要請が来ており今、全額補助が出るので、揖斐郡3町でまず図面を、ことし来年でつくるよう動いている。

北部工業団地〈開発農地3・3ha〉の整地の時、作土を農業に役立てたらどうか。埋めてしまうのはあまりにもったいない。

町長　地権者や地元の作土の欲しい方を優先し道の駅の植栽等にも使う。他にも希望があれば車に積むまではしていきたい。

池田町農業の概要

耕地面積

	面積(ha)	割合(%)
田	938	87
畑	19	2
樹園	125	11
計	1082	100

経営規模

耕地面積(ha)	農家戸数	割合(%)
～0.5	692	51
0.5～1	467	34
1～2	161	12
2～5	33	2
5～	9	1
計	1362	100

産出額

	金額(百万円)	割合(%)
米	518	27
麦	38	2
豆	42	2
野菜	761	40
花	131	7
お茶	149	8
乳用牛	114	6
他	144	8
計	1897	100

平成21年度池田町予算の資料より

入札後でもいい予定価格の公表を

落札率がわからない

池田町は公共工事で予定価格を公表しないのでそれに対して落札価格が何%かという落札率が出ない。それでは業者の努力・改善ぶり・よそとの比較・談合等検討できない。

町長　公表はメリット・デメリットがあるので慎重に進めて行く。

入札改善に取り組んでいるか。

一般競争入札にすると工事費は下がる。業者を地元限定にしたりの条件付でもいいがやったらどうか。

町長　総合評価方式・事後審査型などを試行しているところだ。一般競争入札も今後検討する。

閲覧用

指名業者・入札執行一覧表

仕様書番号			入札及び契約の方法	指名競争入札
工事名			入札年月日	平成
工事場所			仮契約年月日	平成
工事期限	自	本契約日	変更契約年月日	平成　年　月　日
			予定価格	円
	至 当初	平成	契約金額 当初	円
	変更後	平成　年　月　日	変更後	円
業務の概要	当初			
	変更後	※変更理由		

指名人番号	商号又は名称	入札金額（千円） 第1回目	第2回目	第3回目	備考（落札・最低制限価格未満入札等）

※指名理由　県内Aランク業者より、工事実績等を考慮し　社を選定

海津市の出しているもの。図書館で誰でも見られる。池田町も取り組んでほしい。